

※本計画は10時間としているが、実際の授業時間数に応じてアレンジしてもよい。

第1学年（10時間）

単元の目標	知識及び技能	空手道について、技ができる楽しさや喜びを味わい、空手道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて簡易な攻防を展開することができるようにする。									
	思考力、判断力、表現力等	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。									
	学びに向かう力、人間性等	武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどや、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ることができるようにする。									
時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
重点指導内容	知識	① ③			②	②					総括的な評価
	技能		①	② ③	④			②	①		
	思・判・表 態度	③						②	②		
学習の流れ	0	準備運動(体ほぐしの運動などを活用)									
	10	・学習カード配布 ・映像視聴 ・武道の特性・成り立ち・伝統的な考え方 ・立礼、座礼 ・左座右起 ・立ち方 5種類 ・安全上の注意(授業以外で技をかけないことなど)	礼法・立ち方の実演	受け・運足の実演	突き・前屈立ちでの移動の実演	約束組手の説明、注意	約束組手(受け、突き) 簡易な約束組手形式での前時の復習				基本形一の練習
	20	正中線について(受けを行う上での急所の理解) 受け(上・中・下段)について 運足(寄り足、繰ぎ足)について		突きについて ・中段突き ・下段受け	上段あげ受け	受け・突き(個々の動作の確認)	受け突きの運動(連続技)	前屈立ち移動	受け突き・前屈立ち移動	基本形一の練習 ※終始、手本となる映像を再生 ※グループ学習 ※友達同士で見せ合い、助言し合う	基本形一発表 ※4人一組 ※動画撮影 ※他グループも見学
	30			前屈立ちでの移動(基本形90度・180度・270度の動き確認)	受け突きの運動(上段あげ受け⇒中段突き)	基本形一(第17挙動～第20挙動)	基本形一20挙動	基本形一の練習(グループ学習) ※終始、手本となる映像を再生 ※8コマ目に、各グループで発表時の陣形を決める			
	40			立ち方ジャンケン	基本形一(第1挙動～第5挙動)	基本形一(第6挙動～第16挙動)	練習方法の選択	中間の良い点や修正点			
	50			まとめ(個人カードに記入)							
時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
評価の機会	知識	① ③			(②)	②					総括的な評価 (不確定要素のある生徒の評価を確定)
	技能			①	②		③	④			
	思・判・表 態度					③		①		①	
単元の評価規準	知識	①武道は対人的な技能を基にした運動で、我が国固有の文化であることについて、言ったり書き出したりしている。 ②武道の技には名称があり、それぞれの技を身に付けるための技術的なポイントがあることについて、言ったり書き出したりしている。 ③武道はそれぞれの種目で、主として高まる体力要素が異なることについて、言ったり書き出したりしている。									
	技能	①基本動作「立ち方」ができる。 ②「下段受け」ができる。 ③「中段突き」ができる。 ④「上段あげ受け」ができる。									
	思・判・表	①提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、中間の課題や出来映えを伝えている。 ②提供された練習方法から、自己の課題に応じた練習方法を選んでいる。									
	態度	①武道の学習に積極的に取り組もうとしている。 ②用具等の準備や後片付け、審判などの分担した役割を果たそうとしている。 ③禁じ技を用いないなど健康・安全に留意している。									

※本計画は10時間としているが、実際の授業時間数に応じてアレンジしてもよい。

第2学年（10時間）

単元の目標	知識及び技能	空手道について、技ができる楽しさや喜びを味わい、空手道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて簡易な攻防を展開することができるようにする。									
	思考力、判断力、表現力等	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。									
	学びに向かう力、人間性等	武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどや、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ることができるようにする。									
時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
重点指導内容	知識	①	②	②					③		
	技能			①	②	②		①	③		
	態度	①	②		③						
学習の流れ	0	準備運動(体ほぐしの運動などを活用)									
	10	オリエンテーション ・授業ルールの確認(入口で礼など) ・歴史と特性について ・健康・安全について ・学習のねらい、評価	・健康安全について(前時同様) ・形について	・技の名称確認(写真・見本)提示	・集団演武について	・創作組手の作り方 ・約束組手について	・技の名称確認(写真・見本)提示	・練習方法の提示	・集団演武について ・練習方法の提示	・試合形式・方法の確認(旗) ・評価の仕方について(配布資料)	・集団演武について
	20	1年次の復習(全体→グループ) ・礼法 ・立ち方 ・受け ・突き ・基本形一	基本(練習) ・中段前蹴り ・基本(練習) ・中段順突き ・中段前蹴り ・中段順突き ・中段順突き ・中段順突き ・基本形二	グループ学習 ・練習方法の提示(グループで分かれ気づきを指摘し合う) ※背の順で4、5名ずつ分割、リーダー1名 ・基本形二	グループ学習 ・基本形二 発表(少人数演武)	約束組手(中段順突き→中段外受け→中段逆突き)			約束組手		
	30				基本(練習) ・中段外受け ・中段逆突き ・中段外受け ・中段逆突き	基本(練習) ・中段外受け ・中段逆突き ・中段外受け ・中段逆突き	グループ学習 ・創作組手	グループ学習 ・創作組手	グループ練習 ・基本形二 ・創作組手	グループ練習 ・基本形二 ・創作組手	集団演武 ・クラス全員
	40		伝統的な行動の仕方の指導	仲間の良い所作や取組を伝え合う 違いを認め合う	礼法について確認	安全上の留意点を伝え合う 違いを認め合う	発表 ・少人数演武	発表 ・少人数演武	全員が楽しめる方法を伝え合う	試合(対戦形式) ・他グループ評価	
	50	まとめ(学習カードに記入)									
時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
評価の機会	知識	①	(②)	②					③		
	技能				①		②				
	態度				②	②		①	③	①	
単元の評価規準	知識	① 武道には技能の習得を通して、人間形成を図るという伝統的な考え方がることについて、言ったり書き出したりしている。 ② 武道の技には名称があり、それぞれの技を身に付けるための技術的なポイントがあることについて、言ったり書き出したりしている。 ③ 試合の行い方には、ごく簡易な試合におけるルール、審判及び運営の仕方があることについて、言ったり書き出したりしている。									
	技能	① 「基本形二」ができる。 ② 「約束組手」ができる。									
	思考力、判断力、表現力等	① 学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。 ② 練習の場面で、仲間の伝統的な所作等のよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。 ③ 体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や簡易な試合を行う方法を見付け、仲間に伝えている。									
	態度	① 武道の学習に積極的に取り組もうとしている。 ② 相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとしている。 ③ 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。									